

星座の成立と ギリシャ・ローマ神話 Q&A

質問	<ul style="list-style-type: none">・「車」座が「熊」座になった経緯が知りたい。・メソポタミアで生まれた「大きな荷車」「小さな荷車」座の方が、不自然にしっぽの長い現在の「大熊座」「小熊座」よりもしっかり来ます。回りつづける荷車が時を刻みながら天頂をめくり続けるという視点は体感的にともしっかり来るのですが、熊たちにとってかわられた理由はあるのでしょうか。
回答	紀元前3世紀のアトスによれば、「二頭の熊へ連れ立って進んで行く。そこでともに荷車と呼ばれているのだ」と書かれているので、当時は二通りに呼ばれていたのかもしれませんが、おそらく、ギリシア神話と関係づけるために、大熊・小熊とされ、その呼び方が優ることになったのでしょう。
質問	なぜ星は光って見えるのでしょうか。
回答	恒星は自ら光を放しており、惑星と月は、太陽（恒星）の光を反射して光って見えます。ちなみに、恒星は瞬いて見えますが、惑星は瞬きません。恒星は遠い点光源なので、大気の揺れの影響を受けて光が屈折するからです。惑星は面光源なので影響を受けません。
質問	星座のむき（形）は、なぜ上下がいろいろなのですか。
回答	理由は分かりませんが、おそらく、星と星を結びつけて図形をつくっていくと、様々な方向の星座になったのでしょう。星座は日周運動をしていますから、さまざまな角度から見て楽しむことができます。
質問	<ul style="list-style-type: none">・星座初心者向けのオススメの本や動画（YouTubeなど）を教えてください。・星座は全くのしろうとです。入門として楽しく読める本をご紹介下さい。ストーリーもいっしょに学べると本当に楽しいのでは？
回答	動画は不案内ですので、本だけを紹介します。いろいろとありますが、1冊だけ挙げるとすれば、講演のときの配布資料にも書きました、村山定男・藤井旭『ヴィジュアル版 星座への招待』（河出書房新社）です。現在は絶版となっていますので、図書館や古本をご利用ください。藤井旭さんの本はどれも信頼ができ、また楽しいので、図書館・本屋でご覧ください。大人向けも子ども向けもあります。オススメです。
質問	ギリシャ・ローマ神話等の日本国内・海外における学問的活動はどのようなものがあるのでしょうか。
回答	「学問的活動」の意味がよく分かりませんが、学問分野としては、アプローチの仕方によって、宗教学、神話学、西洋古典学、などが挙げられます。宗教学や神話学が神話・伝説が成立する人間（社会）の心的構造の分析とすれば、西洋古典学は、このような神話や伝説の伝承過程を文学作品などを通じて考究します。